

# 次の時代の看護の発展を支える 「背骨」となるサービスを創る

## 有限会社ノトコード

### 採択テーマ ▶ 看護組織のマネジメント支援サービスの提供

「看護に誇りと喜びを」をビジョンとし、看護職一人ひとりと管理者をサポートしている会社。看護職の満足度調査や、問題解決のためのツール「PDP (Problem-Discovery Process)」を活用した研修なども行っている。「看護管理」によって組織の力を引き出しながら、持続可能な看護組織にするためのさまざまな取り組みを行っている。

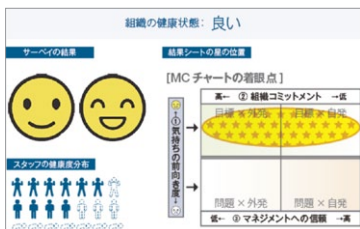
### キーワード ▶ 看護に誇りと喜びを・手段にもっと自由を・行動を変えるしかけ



代表取締役：平林 慶史さん



看護職一人ひとりが誇りと喜びを持って働けるよう、看護組織とその管理者を支援している。



日本医師会発行の、医学生がこれからの医療を考えるための無料情報誌「DOCTOR-ASE (ドクターアゼ)」の企画・編集・制作も行っている。

### ◆ 看護組織の成長をサポートするサービスの事業化に取り組む

代表取締役の平林慶史さんは、大学在学中から看護師などのストレスの問題について研究を行っていた。さまざまな悩みを抱える看護の現場で、少しでも手助けになりたいという想いを胸に起業。しかし多くの病院では医療の充実には予算がついても、看護部門には簡単には予算がつかないのが現状である。つまり、看護組織の成長をサポートする事業は、ビジネスとして成立しにくい状況だった。苦悩する中で、革新的サービスの事業化支援のことを知った。「さらに進めたいと考えていたことに、薪をくべてもらいました」と平林さんは語る。

### ◆ 試行錯誤しながら丁寧な仕事を重ねて明日へと届ける

「看護の改善へのアプローチは、今までは『研修』以外にあまり行われていませんでした。そこで、よりよく働けるようにするプラットフォームを、ITを活かしてつくろうとしました」と平林さん。ユーザーも交えて検討を重ね、看護の組織診断調査、マネージャー教育、管理システムを統合したサービスを開発。全国で20ヵ所ほどの機関に使ってもらいながら改良を続けている。「徐々にマネタイズの見込みも立ってきています。試行錯誤しながら、本当に現場のニーズに応える仕事をしたいので、短期的な成果を求められる投資や融資は受けていないです」と語る。

### ◆ 支援の原動力を活かしてさらに社会を前進させる原動力へ

改めて、事業化支援について平林さんは「日々の仕事に追われる中で経営的なマイルストーンができ、前進の原動力になりました」と話し、さらに「社名のノトコードは『脊索』という、胎児の発達段階で背骨の前にできる器官に由来しています。人生のアーリーステージで重要な役割を果たして退場していく姿を、会社の在り方にも投影しています。小さな会社で、あまり商売上手ではありませんが、医療・看護の業界で次の時代の『背骨』になるようなサービスをつくり、看護師さんがより活躍するステージをつくることができればうれしく思います」と語った。



看護職が健全に働き続けることのできる組織的・心理的な環境を整備し、日本の医療・介護体制の充実と安定に貢献することをめざしています。世の中を変えるためにどうすればよいか丁寧に考える姿勢や手法が、明日のロールモデルになると期待します。

### 会社概要

所在地 ● 東京都文京区本郷4-12-16-108 TEL ● 050-3138-5684 URL ● <http://notocord.net>  
代表取締役 ● 平林 慶史 設立 ● 2005年7月 資本金 ● 300万円